

令和6年度研究開発委員会 指導資料説明会概要

東京都教育委員会は、東京都の教員全体の指導力向上を図るとともに、急激な社会の変化や学校における教育実践から提起される様々な教育課題や要請に対応するため、研究開発委員会を設置し、教育課題に関わる教育内容や方法等について研究開発を行い、その成果を普及・啓発することにより学校教育の改善・充実を図っています。

令和6年度は、8つの委員会で68人の研究開発委員が、研究開発に取り組んできました。

研究開発のまとめとして、研究発表及び研究協議等による指導資料説明会を以下のとおり開催します。

令和7年1月31日（金）

時間（受付開始時刻）	委員会	会場
前半：午後1時15分から 午後2時45分まで （午後0時45分）	いじめの理解啓発	教職員研修センター 研修室
	文理融合教育	
後半：午後3時00分から 午後4時30分まで （午後2時30分）	不登校児童・生徒の支援	
	工科高等学校における学び	

令和7年2月3日（月）

時間（受付開始時刻）	担当委員会	会場
前半：午後1時15分から 午後2時45分まで （午後0時45分）	特別支援学校における学習評価	教職員研修センター 研修室
	使える英語力	
後半：午後3時00分から 午後4時30分まで （午後2時30分）	体験活動の充実	
	デジタルを活用したこれからの学び	

特別支援学校における学習評価委員会

研究主題	特別支援学校における学習評価の考え方や進め方に関する研究・開発 ～知的障害教育における観点別評価を活用した指導と評価の一体化に向けて～
概要	本研究は、3年間にわたり、知的障害教育における学習評価の考え方を具体的に整理するとともに、3観点の評価を指導の改善に生かす方法や事例に関する研究・開発に取り組んできた。指導資料説明会では、観点別学習状況の評価の具体的な見取り方を説明するとともに、研究・開発を行っている小・中・高等部の各教科の単元計画や評価の実際について紹介し、特別支援学校の学習評価の方法や事例等について周知を図る。

使える英語力委員会	
研究主題	小・中・高の接続を意識した「使える英語力」の育成 ～話すこと〔発表〕のパフォーマンステストを通して～
概要	「使える英語力」を「目的や場面、状況などに応じて、相手に配慮しながら、主体的に英語でコミュニケーションを図り、情報や事実、考え、気持ちを伝え合うことのできる力」と設定し、小・中・高校の接続を意識したパフォーマンステストを研究した。本研究では、スピーチにおけるテーマ設定、ループリック及び評価例を示すとともに、授業で実践しやすいパフォーマンステストを提示する。これにより、小学校から高校卒業までを見通した児童・生徒の英語力向上を目指す。

いじめ理解啓発委員会	
研究主題	自己指導能力を育成する発達支持的生徒指導 ～いじめの未然防止に向けて～
概要	生徒指導提要（改訂版）では、児童・生徒一人一人が生徒指導の目的を達成するために「自己指導能力」を身に付けること、そのために、教職員は、発達支持的生徒指導による、児童・生徒への働きかけが重要であることが示されている。このことから、いじめの未然防止の観点より、自己指導能力を育成する授業実践に取り組んできた。 説明会では、授業実践の説明に加えて、教育課程内外の全ての教育活動において進められる生徒指導のポイントを、生徒指導提要（改訂版）をもとに解説する。

不登校児童・生徒の支援委員会	
研究主題	不登校生徒一人一人の状況に応じた学びの実現 ～チャレンジクラス（不登校対応校内分教室）の取組について～
概要	都教育委員会は、区市教育委員会が設置するチャレンジクラス（不登校対応校内分教室）に教員を配置するとともに、教室整備に係る費用を補助する事業を令和6年度から開始した。本委員会では、10地区10校のチャレンジクラスにおいて、不登校生徒一人一人の状況に応じた学びを実現するために、「登校日数の増加」、「学習内容の定着」、「学校内外の機関等との連携」の3点に視点を当て、支援や指導の工夫について研究した。 説明会では、チャレンジクラス設置校が実践した取組の成果を発表する。

体験活動の充実委員会	
研究主題	学校における体験活動の充実を図るための手だての工夫・改善 ～児童・生徒の「豊かな心」を育成するために～
概要	東京都教育ビジョン（第5次）では、「豊かな心」を育成するために、体験活動の充実が求められている。本委員会では、児童・生徒の生活や学びに結び付けるために、計画段階や実践段階などの視点から、体験活動を充実のための手だてを捉え直した。 説明会では、事例紹介と協議を通して、児童・生徒の豊かな心を育むための効果的な手だてについて、校種の枠を超えて深めたい。

文理融合教育委員会	
研究主題	文理融合教育の視点を踏まえた探究活動について ～ミニ探究教材の開発とその実践事例～
概要	『総合知』の基本的考え方及び戦略的に推進する方策 中間とりまとめ（令和4年3月内閣府）において、自然科学の「知」と人文・社会科学の「知」との融合による「総合知」の創出・活用の必要性が示された。このことから、本研究では、実社会の課題を取り扱い、「総合知」を活用して、主体的、協働的に学ぶ課題解決型の教材を開発した。

工科高等学校における学び委員会	
研究主題	「技術の力で新たな価値の創出や課題解決を目指す力を育む学校」の実現を目指して ～試行錯誤の経験をとおしたものづくりの魅力の実感～
概要	令和4年、都教育委員会は、ものづくりが迎える新たな局面に向き合い、社会からの期待に応える工科高校を目指すため、「Society5.0を支える工業高校の実現に向けた戦略プロジェクト Next Kogyo START Project」を策定し、教育内容の充実や魅力の向上などの施策を示した。このことから、技術の定着を図るとともに、試行錯誤の経験をとおして、ものづくりの魅力の実感、更なる学習意欲の向上につなげるよう、外部人材を効果的に活用した課題解決型の授業及び指導の開発研究を行った。

デジタルを活用したこれからの学び委員会	
研究主題	「デジタルを活用したこれからの学び」の実現に向けて
概要	東京都教育ビジョン(第5次)(令和6年3月)及び東京都学校教育情報化推進計画(令和6年3月)において、「デジタルを活用したこれからの学び」が示された。子供が自ら学び方を選択し、自立した学習者になることを目指した授業づくりに取り組んでいる学校やこれから取り組もうとする学校に向け、参考となる指導資料を作成した。

<問合せ先>

教育庁指導部指導企画課

電話 03-5320-6869